

第6回 あげお未来創造市民会議 会議録

1. 日 時 令和元年11月1日(金) 9時30分～11時30分

2. 場 所 青少年センター会議室

3. 出席者 委員：飯塚 純 ・大木晴夫 ・大塚常司 ・小川和男 ・小川早枝子
河原塚透 ・桐原陽子 ・小島 勝 ・小牟田健治・鈴木靖代
関本正弘 ・高橋雅之 ・竹村絵里 ・刀根正克 ・中澤正俊
能登 貢 ・萩原和也 ・本城文夫 ・的場保子 ・宮田敬生
山尾三枝子・山口 直

(欠席委員 市倉育江 ・伊原広茂 ・大澤サユリ・岡部千里 ・木村功一
増田澄雄 ・矢島通夫)

事務局：行政経営課野崎課長・本郷副主幹・東海林主任・三浦主任

加計外チーム：永澤副主幹・松本主査 ・鈴木(彰)主任 ・大橋主任 ・鈴木(陽)主任
野澤主任 ・林主任 ・田中主任 ・細井主任 ・石川主任
野間主任

コンサルタント：株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング

4. 次 第

〈第6回あげお未来創造市民会議〉

- 1 開会
- 2 グループ討議
・施策に対する意見検討①(協議分野1の理想の状態)
- 3 その他
- 4 閉会

5. 配付資料 次第

あげお未来創造市民会議～第6回資料～
第5回会議まとめ資料

6. 議事概要

〈第6回あげお未来創造市民会議〉

1 開会

副委員長：皆さま、おはようございます。本日は、お忙しい中ご出席をいただきましてありがとうございます。これより、第6回あげお未来創造市民会議を始めさせていただきます。はじめに事務局から配付資料の確認をさせていただきます。

《事務局から配付資料の確認》

2 グループ討議

副委員長：それでは、次第に沿って進めてまいります。次第の2「グループ討議」についてですが、前回までは総合計画の「基本構想」についての議論をしてきたところです。今回からは「基本構想」に向かって進める施策等を示す「基本計画」についての議論になります。

《コンサルタントが「あげお未来創造市民会議～第6回資料～」に基づき、前回の議論のあらましや本日の協議テーマ、協議の方法などについて説明》

《5グループに分かれ、各グループの協議テーマにおける「理想の状態」について議論し、発表した》

委員：Aグループのテーマは「健康」です。今回は「人の健康」「地域の健康」「まちの健康」の3カテゴリーに分けて議論しました。「人の健康」についてはまず、病気などの予防ができている状態が大切であるとの意見が出ました。予防を徹底するためには「栄養」「運動」「休養」が鍵となります。また、「人の健康」ではストレス解消なども含め、メンタルヘルスの維持も重要です。相談窓口を充実させるといった取り組みも考えられます。次に「地域の健康」については、市民の活発な社会参加が理想の状態として挙げられました。できるだけ外出しやすくなるようなまちづくりが求められます。また、働く人の健康を守る「健康経営」も目標となります。生産年齢人口が減少する中、今後ますます大切になると考えます。最後に「まちの健康」では、医療を受けやすい環境が整っていることが重要との指摘がありました。地域連携医療を進めることはもちろんのこと、病院のマップを作成する取り組みなども考えられます。

コンサルタント：Aグループは最上位目標として「健康寿命の延伸」を掲げた上で、個人、地域、まち全体のそれぞれの単位における理想の状態を検討されました。個人では、病気が予防できている状態、メンタルのケアができている状態が理想として挙げられ、地域では、人のつながりを活かした社会参加が活発な状態が目標とされました。まち全体では、健康づくりへの行政の関わりも意識しながら、健康診断の受診率が高い状態などが挙げられました。

委員：Bグループでは「協働・コミュニティ」について議論しました。このテーマについてまず重要と考えられるのは、交流・活動の場づくりができていることです。子ども食堂に関わっておられる委員によれば、子どもだけでなく、大人も食堂から帰りたい人が多くいるとのことで、会話の場を求めている人が多いことを示していると思います。また、個人だけでなく、市民団体としても、集まる場は貴重です。交流の機会の確保は、引きこもりの人の社会参加にも大変有効ではないかと思います。「情報共有」については、特に災害時に情報共有ができることが重要です。このため、あらかじめ単身世帯を集約して団地をつくっておけば、スムーズなコミュニケーションが可能になるのではないかという意見がありま

した。また、外国人への情報共有については、できるだけ簡単な日本語を用いる工夫も重要であるとされました。このほか、市の広報だけでなく、さまざまな情報ツールに関心を持つことも大切です。「人権・男女共同参画・平和」については、学校での人権教育の充実や、会議等の意思決定に女性が参画することが重要であるとの意見が出ました。

コンサルタント：地域のつながりを高めていく手段について次回、改めてご検討いただければと思います。

委員：Cグループでは「行財政運営」に関して「行政運営」「財政運営」「公共施設」の3分野について議論しました。「行政運営」についてはまず、上尾市の現在の歳出の約9割が義務的経費であり、使い道の決められたものであるという現状を確認しました。これを改善していくためには、税収を上げることが不可欠ですが、そのためには女性が活躍できる上尾市にしていくことが求められるのではないのでしょうか。千葉県流山市は「母になるなら流山市」といったキャッチコピーを打ち出し、子育て世代の移住につなげていますが、上尾市でもぜひ、若い世代を呼び込むPRを強化していきだと思えます。また、AIなど先端技術を活用することで、職員が重要施策に取り組む環境を整えていくことも大切です。「財政運営」については、透明化が求められるとの指摘がありました。また、その上で、将来の税収増が見込める施策に取り組んでいくべきとの意見が出ました。「公共施設」については、施設の安全が確保されていることが理想の状態とされました。

コンサルタント：義務的経費が増え、市の財政の硬直化が進んでいるという厳しい現状認識の下、議論をいただきました。市の財政はまちの持続可能性に関わる重要な論点と考えます。市の財政運営の改善において、行政だけでなく、市民自身にもできる取り組みはないか、お考えいただければと思います。

委員：Dグループではまず、生活の安全に関わる分野について協議しました。各分野の理想の状態としては「交通安全」では事故に遭わないこと、「防災・危機管理」では災害に遭わないこと、「防犯」では犯罪に巻き込まれないこと、「消費」では食の安全が守られていることやトラブルに遭わないことが挙げられます。具体的には「交通安全」では特に、見守り隊や青パトの効率化、ヘルメット着用の促進などが必要とされました。「防災・危機管理」では、ハザードマップの普及が必要ではないのでしょうか。「消費」では、リサイクル品の積極的な活用が求められるとの意見が出ました。全体として、地域のつながりの強化や情報共有が重要であると考えます。また、市から市民への一方向的な情報伝達のみならず、市民から市への積極的な情報提供があれば、災害時の被害を防ぐことができるのではないかと指摘もありました。このほか、市の内部で部署の垣根を超えた情報共有の仕組みづくりも大切である意見が出ました。

コンサルタント：今年は各地で災害が相次いでおり、改めて防災が大きな地域課題としてクローズアップされていると思います。地域の関わりや情報共有の仕組みが解決の糸口になるとのご指摘が大変印象的でした。大宮台地にある上尾市は災害に比較的強いとされ、これが市のアピールポイントになるとの意見も過去の会議で出ておりま

した。

委員：Eグループは「福祉」について協議しました。「生活福祉」「高齢者福祉」「障害者福祉」と3分野ありますが、実際には分割することは困難で、ある分野で大切なことは他の分野でも重要になると考えます。また、福祉の対象になる人とそうでない人を分ける考え方を取るべきではないとも思います。理想的な状態としては、障害の有無や年齢などに関わりなく、誰もが参加できるコミュニティがある状態こそが望ましいと考えます。また、福祉を受けるようになったとしても、安心してサービスを受けられ、その人らしく暮らせる社会も理想だと感じます。誰もが福祉の担い手であり、受け手であるとの意識が広がればと思います。

コンサルタント：福祉の縦割りや、健常者とそうでない人の区別を相対化した上で議論をされているのが印象的でした。福祉が特別なものとしてあるのではなく、人が生きていく中で自然なものとしてされる社会を目指す議論は大変根本的であると感じました。

副委員長：本日も大変お疲れ様でした。続いて、次第の3「その他」について、事務局から説明をお願いします。

3. その他

《事務局から、第7回会議は11月29日（金）、第8回会議は12月20日（金）の開催を予定している旨、連絡があった。》

4. 閉会

副委員長：そのほか、委員の皆さまからご意見はございますか。

委員：今回からグループ編成を変更しましたが、人数の偏りがあり、少ないグループもあります。どのようにお考えでしょうか。

事務局：グループは今回から5つとしましたが、基本的に各グループ協議テーマに沿った内容において、専門分野の委員さんが配置されていると考えていますので、その方を中心に議論ができれば、最低4名いればグループ討議としては成立すると考えています。

副委員長：各委員がどのグループに参加を希望するか、早めに意見をもらった上で調整するほか、場合によってはグループごとの協議テーマを統合することなども考えられます。

事務局：今回いただいたご意見を踏まえつつ、本日欠席されている委員もいるので、ご希望を伺い、人数の調整ができればと考えています。

副委員長：そのほか、委員の皆さまからご意見はございますか。なければ、以上をもって第6回あげお未来創造市民会議を終了します。ご協力ありがとうございました。

以上